

# 第二十二回前田純孝賞学生短歌コンクール入賞作品一覧

【中高校生の部】

前田純孝賞

中国史漢字の海を大航海殷周秦漢船酔い気分

長野県松本幡ヶ崎高等学校 二年

巢山稜介

【選評】

漢字十七字ひらがなは、たった三字で一首で作りあげ、見た目にも内容にふさわしい雰囲気を出しています。殷の時代から漢代まで、紀元前十七世紀から西暦二百年ぐらまでの千九百年を一時限でやるのですから、船酔い気分も当然です。

カリッボキバリッ給食のカニに喰らいつくあのおんなの子も獣のようだ

兵庫県新温泉町立浜坂中学校 三年

山本涼音

【選評】

浜坂中学校では、給食に蟹がでることがあるんですね。何かしゃべったりする生徒もなく、「カリッ」「ボキ」「バリッ」という音だけがひびいている教室の雰囲気のみごとに表現されています。ユーモアを意識した下句もたのしいですね。

準前田純孝賞

秋の日の窓からさしこむ陽の光切られた梨の白い輝き

東京電機大学高等学校 一年

植田瑞萌

この気持ち気付かぬふりでふたをした素直になれず遠くなる距離

新潟県新潟市立新潟柳都中学校 一年

小野愛実

助動詞を赤で囲んで平安の貴族の恋と微睡むわたし

福岡県立筑紫中央高等学校 三年

松尾歩乃果

解き放つ私の想い槍に込め青空しばふあがる白旗

大阪府立夕陽丘高等学校 一年

前田麻奈美

新温泉町長賞

雨の中妹と兄が傘一本肩がぬれてる兄の優しさ

兵庫県立社高等学校 二年

内藤真優香

夏が過ぎ二学期はじめに知らされる行事の滝に飲まれる生徒

東京電機大学中学校 二年

澤田 彩

一分間無心になるといつもなら聞こえない音新しい世界

岐阜県美濃加茂市立西中学校 二年

藤掛莉果

受け身とりひびく畳に落ちる汗外眺めれば冬は間近に

青森県むつ市立むつ中学校 一年

川上凌生

電源が切れて意味ないスマートフォン世界から一人孤立している

埼玉県立上尾南高等学校 三年

板井武流

図書館の高いところにある本を渡してくれる君が好きだな

埼玉県小川町立櫛台中学校 三年

轟 若奈

フライスでアルミを切削加工する一年前より慣れた気がする

群馬県立太田工業高等学校 二年

木村光紀

雪がふりめんどつだなどつぶやいたただけど心はすきつぶしてる

埼玉県立越生高等学校 一年

厚川泰希

蓮根の穴を覗いてそれぞれの表情になる六人家族

兵庫県新温泉町立浜坂中学校 二年

大田妃奈乃

息すれば音もみだれる弱音に弦を見つめて弓の先まで

大阪府立夕陽丘高等学校 二年

佐々木基樹

### 新温泉町教育長賞

わかあゆが川の流れて逆らって泳ぎだしたよあゆまつりの日

兵庫県立社高等学校 二年

中村玲那

霧も無く青空映す摩周には少し滲んだ夏雲二つ

東京電機大学中学校 二年

寺地優吾

帰り道夕焼け空に照らされて私の街に魔法がかかる

兵庫県立北摂三田高等学校 三年

仲本 麗

またあとで向かう所は同じ場所私は電車彼は自転車

兵庫県立神崎高等学校 一年

加芝毅子

秋風が夜空の星を磨いているいつもよりもっと星が見えるな

ワシントン日本語学校 二年

西本菜々美

iPhoneのプレイリストが延々と言い訳じみた「愛してる」を告ぐ

岩手県立福岡高等学校 二年

鈴木絵梨奈

朝一番静かな教室窓開けて気合いを入れてシャーペン握る

宮崎県西米良村立西米良中学校 三年

吉丸日葉

授業中陽気な国語の先生は楽しく語る海辺のカフカ

大阪府大阪桐蔭中学校 三年

大橋優喜

いつもよりゆっくり歩く散歩道祖母と歩くと発見がある

宮城県名取市立第二中学校 一年

八代実果

朝練が今日も始まる七時半ピアノと私の真剣勝負

大阪府立夕陽丘高等学校 一年

山下楓音

### 神戸新聞社賞

手入れせず祖母の畑は荒れはてたほおずきだけが色づいている

東京電機大学中学校 二年

鈴木彩華

帰り道森の中へ寄り道をしつぽがついた内緒の友達

教科書の写真に髪の毛足してみるこっちの方がカッコイイでしょ

英単語次から次へと流れてく流れをとめて頭に詰め込む

ありがとうことばにするとあたかいい心の中は何色だろう

授業中たくさん書いたらくがきの机とももつ別れがくるよ

サビれてるシャツターの前私たち集合場所は必ずここで

冬の朝静かな時と白い道犬と二人で足跡のこす

誰が好き何が嫌い何が好きもつと知りたいあの人の事

背負投一本背負小内刈今度こそ投げる一勝の壁

## 佳作

夏祭り急に降り出すすごい雨負けじと上がる無数の花火

朝早くちかくのいけでポンとなくすいれんたちのかわいい産ぶ声

ぬった涼しか処にはよ来んね祖母の手招き心が弾む

青空の表現できないはがゆさよ心と体をそめているのに

ため息を誰かがつくと周りにも広がっていく負のスパイラル

黒板をピカピカにしてむかえたら先生今日も気持ち乗ってる

校庭の中に溜まった水溜まりそこに映した補欠の口惜しさ

靴紐を結ぶときには左から密かなルールに勝利を誓う

兵庫県立西宮北高等学校 一年

日笠朗仁

愛知県立豊橋西高等学校 一年

三城千洸

大阪府大阪桐蔭中学校 三年

篠田修太郎

福岡県博多女子高等学校 一年

下田遥奈

大阪教育大学附属平野中学校 三年

萩野百音

長野県松本蟻ヶ崎高等学校 二年

塩原小葵

兵庫県新温泉町立夢が丘中学校 二年

長谷坂葉

大阪府立夕陽丘高等学校 二年

新畑貴也

大阪府立夕陽丘高等学校 一年

水田嘉治

兵庫県立社高等学校 二年

河崎誠生

東京電機大学中学校 二年

関 優太

東京電機大学中学校 二年

古川幸奈

東京電機大学高等学校 一年

平松 匠

兵庫県立北摂三田高等学校 三年

砂坂 櫻

青森県むつ市立むつ中学校 一年

菊池一圭

埼玉県立上尾南高等学校 二年

井口憲夫

埼玉県立上尾南高等学校 三年

木内太一

冷えてきた朝の空気を吸いながら袖を通した冬の制服

どうしても意見が分かれる私たちそこも二人の個性なのかな

体育祭好きな人の順番を数えて終わるフォークダンス

向日葵と太陽背おい笑う君風いで輝く青いワンピース

あの人のピンチをつまく救えずに狭い教室広く感じる

ぐんぐんと両手を伸ばす朝顔に抱きしめられてる庭の柿の木

愛知県クラーク記念国際高等学校名古屋キャンパス 二年

本谷優果

秋風におどるおちばはゆらゆらと秋は気持ちもゆらゆらするの

大阪教育大学附属平野中学校 一年

古崎明日望

バルコニー陽だまりみつげ並んでるぶくりとぶくらむすずめの親子

大阪教育大学附属平野中学校 三年

井上佳音

2時間目みんながウトウトしてるころどこかで虫がこつそり鳴いた

埼玉県立越生高等学校 一年

山口啓通

帰り道毎日一緒に友達と今日を語りて締めくくる駅

長野県松本県ヶ丘高等学校 一年

山本理紗

ぶかぶかの制服も今さまになり先輩としてお手本見せる

岐阜県美濃加茂市立西中学校 二年

富田優香

今日は紺昨日群青浜坂の水平線は空と交えず

兵庫県新温泉町立浜坂中学校 二年

谷口 麗

コンコンとラリーの続く卓球台音の速さに集まる視線

兵庫県新温泉町立浜坂中学校 二年

清水愛結

戦争と石垣りんの詩を学ぶ写真の祖父と会うこととはない

兵庫県新温泉町立浜坂中学校 三年

井上和之

君と逢いふっと光が満ちたので前髪少し短くします

山口県立徳山高等学校 一年

西村陽菜

『こころ』読むくりかえし読む分からない恋とは一体何なのだろう

大阪府立夕陽丘高等学校 二年

宇都宮柚花

日の終わりに考え悩む将来を終わる一日終わらぬ課題

大阪府立夕陽丘高等学校 一年

伊藤楽人

【大学生の部】

前田純孝賞

実家には降らない雪がベランダに積もってスマホを取り出すタベ

広島大学 三年

杉田佳凜

【選評】

はじめて自分の部屋のベランダに雪が積もった体験の新鮮さ。実家を出て、大学に通うための部屋を借りて住むようになったのです。「スマホ取り出すタベ」が、うまい。写真を撮り、実家の家族や高校の友人に送ったでしょう。

準前田純孝賞

言葉よし木もれ陽もよし白のシャツで指さし確認夏はもうすぐ

就実大学 三年

越智祥多

恋をする恋をしている恋をした恋は時間を彫刻しつつ

広島大学 一年

矢吹 圭

新潟県長賞

毎日の授業のたびに増えていく日本語じゃない専門用語

川崎医療短期大学 一年

高田悠馬

上り坂を夏の自転車でこぎゆけば涼やかに立つ雲の波あり

就実大学 三年

井上菜月

ペルリとなり井伊直弼となり教壇を幕末にする有森先生

就実大学 三年

吉武美咲

ふるさとの台湾になき黄落を浴びつつ急ぐ次の授業へ

青山学院大学大学院 一年

黄 郁婷

みな同じ瞳で我に恋人のこと語る昼下がりの学食

岡山大学 四年

森永理恵

新潟県教育長賞

空梅雨の児島のシーンストリート青空に映えるデニムのブルー

川崎医療短期大学 一年

清板 翼

錆びるチェーン自転車暮らしの生命線切れてくれるな卒業までは

就実大学 四年

松岡正樹

片恋を邪魔する父の迎えあり軽トラにスカートをはさまれ帰る

就実大学 三年

中田明里

手のひらのホクロを数えてなぞってゆくスキってさりげなく書いた

麻生建築&デザイン専門学校 二年

菊竹胡乃美

教室の窓際の席ペン回す世界の広さまだ知らぬ僕

北海道教育大学 一年

岩崎 豪

梅の実の熟れては落ちる梅林の雨に薫れり藩主の庭は

就実大学 二年 笠原陽彩

休み時間覚えたばかりの医療用語サラツと使い友達笑う

川崎医療短期大学 一年 佐藤美穂

まざりあうみんなと過す日々の色私の色とみんなの色が

頌栄短期大学 二年 土井環奈

亡き叔父の動画残りリガラケーで「やあ元気かい」をくりかえし見る

就実大学 三年 星島英恵

愛しらず一人で生きる一匹の孤独なオオカミ本物を追う

韓国・威徳大学 二年 金 炫旭

佳作

コーヒーを今では無糖で飲む君よコーヒー牛乳だった初恋のころ

就実大学 四年 段上美香

苦しくて諦めそうになるけれどきつとつながる看護師の自分へ

川崎医療短期大学 一年 大村真永

変わらない私の夢は高く高く空にははたくフライトナース

川崎医療短期大学 一年 都野川遥菜

たまにあっ昔の友とはなしても少し前より未来が見える

川崎医療短期大学 一年 村上郁菜

ナース服まだ着こなせず三年後パリッと決めるナースになるぞ

川崎医療短期大学 一年 八木咲彩

ねころんで明日のことを考える今日と明日のすきまの話

頌栄短期大学 二年 花田ももか

友達と過ごす時間が減っていく心の中が寂しくなるね

頌栄短期大学 二年 柘植成美

5歳児にぼくが守るよ先生を言われたときは胸がキュンキュン

頌栄短期大学 二年 松原明日翔

彼という羽毛布団に包まれて私のワガママ吸収される

就実大学 四年 赤木遥

雨なのに制服脱いで頭に載せ「一緒に帰ろう」と言ってくれた

中国・ノッテンガム大学 四年 黄露儀

【学校表彰の部】

◆学校特別賞

就実大学 川崎医療短期大学 大阪府立夕陽丘高等学校  
兵庫県新温泉町立浜坂中学校 東京電機大学中学校

◆学 校 賞

大阪教育大学附属平野中学校 長野県松本蟻ヶ崎高等学校 兵庫県立神崎高等学校  
東京電機大学高等学校 兵庫県立社高等学校